

「まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催

◎戦略推進課 ☎36・7127

7月16日、2回目となる「まち・ひと・しごと創生市民会議」が市役所で開かれました。

会議では、人口減少の克服と地域経済の発展に向け、2019年度までの5年間に市民・事業者・市が連携して取り組むことをまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」骨子案を明らかにしました。骨子案では「地域経済の持続的な発展」「人口減少の克服」「暮らしやすいまちづくり」の3つの基本的な考え方が示されています。併せて会議では「人口



人口ビジョンを協議する参加者

ビジョン素案」を提示。さまざまな施策を通じ、現在約10万人の人口減少を、2060年に「8万人」に歯止めをかけることを目標にしています。

ワークショップで市民が理想の島田市を語る

◎広報課 ☎36・7118

7月24日、民間事業者や市職員など約30人が参加する「第5回島田市ブランドデザインワークショップ」が、市役所で開催されました。

今回は、民間事業者や市民などを交えての初回の会議。市のシンボルとなる「ブランドメッセージ」と「ロゴ」の制作を目標に、理想の島田市について話し合いました。

参加者からは「個性が生かされるまち」「世界中の人があこがれるまち」などの意見がありました。その後、企業や自治体のロゴの検証、他



全国の事例について意見を交わす参加者

市のコンセプトブックの評価をグループワークで行いました。

女性の視点で質問・提案「島田市女性議会」

◎地域づくり課 ☎36・7121

「島田市男女共同参画の日」である7月30日に「第2回島田市女性議会」が市議会議場で開催され、子育てや教育、これからの島田市について、さまざまな分野で議論が尽くされました。

集まった10代から60代まで幅広い年齢層の参加者は1人ずつ登壇し、市政に対して日頃疑問に感じていることを女性の視点で質問・提案。島田高校2年の新聞緑さんは「SNSを活用した若者向けの情報発信」について質問し、分かりやすいホーム



女性ならではの質問をする参加者

ページの実現や観光分野への利用などを訴えました。

鳥獣害対策用「電気柵」の設置状況を確認

◎農林課 ☎36・7165

西伊豆町で発生した、自作による電気柵の重大事故を受け、市では設置箇所のパトロールを実施しました。また、設置者へ電話による設置状況の確認やリーフレットを配布し、注意喚起を行いました。

農作物などを有害鳥獣から守るための「電気柵」は、電気事業法で設置方法が定められています。設置の際は、適正な設置・管理をお願いします。また、適正に設置された電気柵でも、触れるとしばれますので、接近する際はご注意ください。



電気柵の点検を行う設置者と職員

より詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

☎ <http://www.city.shimada.shizuoka.jp/ringyo/densaku.html>